

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

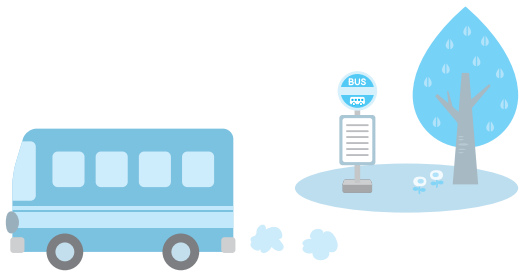
## 利用者にとって便利な公共交通の構築を! 中村 正義 (はつらつ創造)



録画配信の  
2次元コード

### ◆利用者に寄り添った公共交通の実現を

- ①公共交通システム実現の阻害要因の一つに一部関係者で議論され意思決定されているとの指摘があるが、見解は。
- ②都市計画マスタープラン策定に向けた、まちづくり市民意識調査によれば、市外に移りたい理由は「交通が不便」で51.3%とトップである。利用者に寄り添った交通システムの実現が肝要



と思うが、いかがか。  
③「茶の花号」を所要台数確保するとともに、小型化を図り、狭い道路での運行を可能にすること。また、デマンド型交通手段や地域コミュニティが自主的に運行する交通手段導入の取り組みが、市が考えている今後の交通手段なのか。  
**市長** ①公共交通の利用者となり得る若者から高齢者、また、障害のある方からも幅広く意見を聞く必要があり、そのための工夫も検討していく。  
**市民部長** ②茶の花号の利用動向調査により利用者の動向やニーズを捉え、その結果をもとに多くの利用者が満足するよう、増車や小型化、ダイヤの改正などを検討する。また、調査結果は新たな交通手段の検討の中に生かしていく。  
③現時点での最良の方法であり、今年度の交通手段に関する調査結果を踏まえ、法的な問題を精査し、可能性や具体性の検討を深めていく。

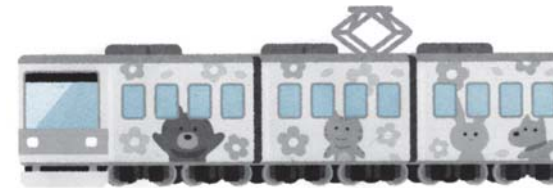
## 駅舎移転で30億円負担は無謀! 財源の確保は 田中 寿夫 (無所属)



録画配信の  
2次元コード

### ◆駅舎移転計画の財源確保は

- ①税収減少、税負担増加の一方という財政状況。入曽駅周辺整備事業の駅舎移転計画で30億円も負担する計画は無謀。駅舎やロータリーの整備の財源確保は。
  - ②狭山市の財政状況についての所感と財源を生み出す政策を。
- 市長** ①駅前広場と一体的に東西自由通路を整備し、安心した駅の東西の移動を可能とするこ



とで、人の流れを活性化し、また、入間小学校跡地に複合型商業施設を誘致するなど、これらの相乗効果により、駅周辺の活性化が図られ、税収の向上や地域全体の活性化が図られる。  
財源確保は、現時点では、国の社会資本整備総合交付金制度と地方債を活用し、財政負担の軽減と平準化を図ることとしている。  
②財政状況を示す各種指標は、近隣市や類似団体と比較しても良好な状況が保たれており、適正な財政運営が継続できている。今後は少子高齢化や人口減少による生産年齢人口の減少により、市税の増収は期待できず、社会保障費の増大が見込まれるため、さらに厳しい財政運営を強いられてくると認識している。財源を生み出す政策は、圏央道狭山日高IC周辺へ企業立地の促進、狭山工業団地の拡張、東中学校跡地の有効活用、入曽駅周辺整備事業による取り組みにより市税収入の増加にも結びつくと考えている。

## 高齢運転者の自動車に事故防止装置を 広山 清志 (公明党)



録画配信の  
2次元コード

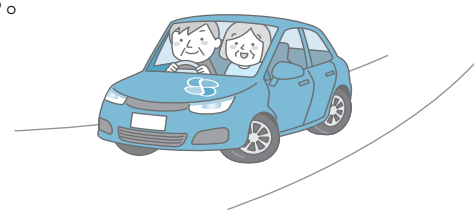
### ◆高齢運転者の自動車事故防止装置の補助は

- ①市長の公約にある、高齢者の自動車事故防止安全装置の補助の導入となった経緯は。
  - ②安全装置補助制度の導入についてどのような制度を考えているのか。
- 市長** ①高齢運転者によるペダルの踏み間違いなどで、全国的に交通事故が多発している。安全運転支援装置に対する補助制度についての照会が寄せられるなど、市民の関心も高まってきていると実感をした。そこで既存の自動車の安全運転支援装置の設置については、急ぐ必要があるとの判断から、これを緊急対策として公約に掲げたものである。

**市民部長** ②現時点では未定だが、今後、対象者の年齢要件、補助の対象となる装置の範囲、補助率や補助限度額などについて決定していく。

### ◆第4次狭山市総合計画の運用は

狭山市総合計画の施策の実行に際し、施策同士の横の連携は。  
**総合政策部長** 市政の方針や重要な施策は、関係課長職で構成する政策調整会議において協議や調整をし、その結果を踏まえて部長職で構成する政策会議で、協議や調整を進める。最終的には、市長が主宰する庁議で、審議と確認を行うが、これらの過程で各種施策の横の連携を図っている。



## 安全確保のための道路の幅をまちづくりに活かして! 西塚 和音 (無所属)



録画配信の  
2次元コード

### ◆入曽駅周辺整備事業に道路整備の考え方は

- ①駅周辺道路からのアクセスを検討する際に、重要となるポイントは。
  - ②道の幅幅については駅周辺整備事業と同時に進んでいくのか。
- 都市建設部長** ①歩行者と自動車を分離することで、歩行者の安全性を確保し、円滑な自動車通行を実現すること、また周辺地域からのアクセス性の向上が重要であると考えます。



駅周辺の道路は  
安全性の確保を

②入曽駅東口改札と県道所沢狭山線を結ぶ道路(市道B第296号線)は、入曽駅周辺整備事業とあわせて幅幅する。また、西口改札と県道川越入間線を結ぶ道路(市道B第313号線)の幅幅整備も地権者と用地交渉を進めて、入曽駅周辺整備事業の完了にあわせて、幅幅できるよう取り組んでいく。

### ◆駅周辺整備は市民の利便性を高めて

入曽駅東口を先行して整備する方針から、今回、西口も併せて整備することとなった理由は。  
**都市建設部長** 入曽駅周辺は鉄道で市街地が東西に分断され、移動に不便である。駅前広場と一体的に東西自由通路を整備し、歩行者が安全に移動可能となることで、地域の活性化につながると考えている。駅の西側についても市有地を活用して、実施可能な範囲で整備することとしたものである。

その他のテーマ▶インフラ施設は、公共施設再編などとの相違点は▶下水道が雨水の流入であふれることは

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご確認ください。FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313